

人口削減：新しい研究が明らかにするショッキングな事実

COVID ワクチンで中止される 5 件のうち 4 件の妊娠は、「自発的中絶」！

By Mike Adams | Natural News, Infowars

July 1, 2021

この研究の著者たち自身が、この不安を与える事実を、曖昧にしていると言われる。

<https://www.infowars.com/posts/depopulation-alert-shocking-new-study-reveals-covid-vaccine-terminates-4-out-of-5-pregnancies-via-spontaneous-abortions/>

「ニューイングランド医学ジャーナル」に発表された、ショッキングな新しい研究が明らかにしたところによると、妊娠した女性が、最初または 2 度目の、3 か月妊娠期間に、Covid ワクチンを受けると、彼らの 82% が、自発的に中絶し (spontaneous abortion)、5 人のうち 4 人が未出生の子どもを殺しているという。

下に説明されている、この驚くべき発見は、「妊娠した人における、mRNA Covid-19 ワクチンの安全性の予備的調査」と題された、新しい研究に発表されたデータから、完全に明らかである。<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33882218/> このデータが同じくらい不安を与えるのは、この研究の著者たちが、明かに、ワクチンが自発的な中絶を誘発していると、事実を故意に曖昧にし、彼ら自身の計算した数値を隠ぺいしていることである。

これは、もともと我々が、Life Site News の論文から探し出したもので、我々自身の科学コンタクトによって、データを点検し、すべてを再チェックして、数値を確かめたものである。その過程で我々は、2 つのことを確かめることができた：——

1. イエス、この研究は、妊娠している母親が、第一または第二の 3 か月期間に Covid ワクチンを与えられると、82% の割合で、自動的に中絶が起こることを示している。
2. イエス、この研究の著者たちは、この事実を、不正直な操作によって (下に説明)、故意に隠そうとしたか、あるいは、彼らが無能で、その信用を失わせるような明かな間違いを犯したか、どちらかである。

言い換えると、この論文は、ほとんど間違いなく、妊娠した女性にワクチン接種することは全く安全であると主張するための、隠ぺいである。

これがその方法である：——

827 人のうち 700 人の女性が、妊娠 3 か月期の第三期にワクチンを受けた

下に示す、この研究の「表 4」は、総計 827 人の妊娠した女性が、研究対象となったことを明らかにしている。827 のうち 700 人が、妊娠 3 か月間の第三期に、最初のワクチンを受けた。これは 127 人の女性 (827-700) が、彼らの第一あるいは第二・3 か月期間に、ワクチンを受けたことを意味する。(明らかにされた、この事実を見るには、下の細かいプリントを読まねばならない。)

(上の埋め込み記事を見よ)

これら 127 人の、第一と第二妊娠 3 か月期にワクチンを受けた、127 人の女性のうち、**104 人で自発的中絶**が起こっており、これは彼らの妊娠が 20 週マークを打つ前だった。これらが表では、「自発的中絶」と記されている。

単純な計算で、127 人の、第一・第二 3 か月期にワクチンを受けた女性の中の、104 の自発的中絶者 (最初の 20 週間の) は、これら接種を受けた妊娠女性の中で、**82%の自発的中絶率**となる。注目すべき重要なことは、**第三 3 か月期**の間に、**生まれずに死んだ赤子の死は、「死産」と呼ばれていて、自発的中絶ではないことだ**。したがって、自発的中絶は、定義によって、**第三 3 か月期**の女性のワクチン接種に、**起ったはずはない**ということである。

したがって、この研究の著者たちは、「自発的中絶」の計算をするとき、827 という間違った共通分母を、不正直に用いたことになる。彼らは 127 という共通分母を使うべきだった。それなら、第一・第二の 3 か月期の間にはワクチンを受ける女性の数として、使えるだろう。

この研究の著者たちは、「統計におけるウソのつき方」という範疇で、賞を受けるべきである。なぜなら、彼らは、ワクチンは、妊娠した女性にも安全であると見せかけるために、うまく手品でごまかそうとしたからである。実際は、彼らは、この最初の 20 週間の妊娠で、孕んだ子 5 人のうち 4 人以上を、殺していると思われる——少なくともこのデータ・セットにおいて。(それは 127 という、わずかなセットの妊娠した女性であり、もっと明らかな全体を見るためには、我々は、何千もの妊娠を調べてみたくなる。)

リンゴとオレンジ、レモンとライム

比喩を使ってこれを説明する簡単な方法は、50 個のレモンと 50 個のライムの入った袋を想像することである。そして、ある科学の研究が、「何パーセントのレモンが黄色か？」と訊ねる。科学者たちは、すべての黄色の果物を数え、50 という数に達する。彼らは間違っ
て 50 を 100 に分ける。なぜなら全部で 100 個の果物があるからである。それから彼らは、「50%のレモンが黄色である」と宣言する。なぜならそれは 100 分の 50 だから。

しかし、他の 50 個の果物は、それがライムであり、レモンではないから、数えることはできない。だから正確な計算は 50 分の 50 であり、これは 100%のレモンが黄色であることを意味する。これが正しい答えだ。

この科学論文では、彼らは共通分母として 827 を使っている——827 の女性のうち 700 人が、第三 3 か月期にワクチンを受けているにすぎないにもかかわらず。これは「自発的中絶」が起こりうる時間枠から**遠く離れている**。そして、妊娠した女性はタイム・トラベラーではないから、彼らは時間を遡って、何か月も前から自発的中絶を報告することはできない。

もしワクチン科学者たちが、こんな基本的な算数もできないか、あるいは、不正直な数の誤魔化しによって、意図的に世間を騙しているのだとすると、「科学」はすでに、その核心の約束を裏切ったことになる。それは「証拠に基づいた」結論によって、我々の周囲の世界を納得させることである。

しかし、5 人のうち 4 人の妊娠した女性が、最初の 20 週でその赤子を失うなら、これらの科学者たちは、自発的中絶の率は 12.6%にすぎないと、ウソの主張をすることになる。なぜだろうか？ なぜなら彼らは、ほとんど確実に政治的理由のために、**ワクチンの残忍さを隠ぺいしている**からである。

実は、この研究の中心的な著者 Tom T. Shimabukuro (島袋?) は、他の多くの研究でも名が上げられており、それはいろんなワクチンの有害反応を記録するもので、ロタウィルス・ワクチンから、2009 年の H1N1 ワクチンにまで及んでいる。

https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/?term=Shimabukuro+TT&cauthor_id=33882218

そこに明らかな疑問が生ずる：——シマブクロは、ワクチンには大した有害事故のリスクはないと結論する、他の研究でも、同じエラーを犯しているのだろうか？ 例えばここに、彼の共同執筆した他の有害事故についての研究がある：

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/23994022/>

この研究はこう結論している：——「VAERS 報告の点検は、TIV-ID 後の、いかなる新しい、あるいは予期しない安全性の懸念も、同定しなかった。」

しかし、その結論は、妊娠した女性に投与された Covid ワクチンの研究のような、悪い算数に基づいたものだろうか？ **我々は彼の方法と結論すべての点検を要求する**。おそらく、この同じ研究の構築者は、長年にわたって、多くの以前の研究にまたがって、同じ組織的なエラーと故意の誤魔化しをやっているだろう。一人の論文著者が、何ダースもの論文について、組織的な間違いをやっているのが見つかって、回収を強制された例は、おそらく一度や二度ではないだろう。

そして、それこそ「科学的方法」を要求するもの、ピアレビュー（査読）ではないのか？ 結論で間違いを受け入れさせる、算術のダブルチェックをせよ。

妊娠した女性へのスパイク蛋白質注射は「残虐行為」と、Dr. Peter McCullough は警告する

一方において、5つの妊娠事例のうち4つが、Covid ワクチンによって断絶されているのは明らかである。それは、これらのワクチンが、最初の20週の間投与されたときに起こる（少なくとも、我々がこれまでに確かめた、小さなデータでは）。そしてこれは、Covid ワクチンの「人口削減」の側面が、グローバリストが望んだ通りに、進行していることを意味する。

憶えておくべきは：——生体内分布 biodistribution（薬物動態 pharmacokinetics）の研究によって、Covid ワクチン・スパイク蛋白質は、卵巣のような生殖器官を、直接、攻撃することが示されたことである。

<https://medicine.news/2021-06-02-horrifying-study-reveals-mrna-vaccine-nanoparticles-are-circulated-throughout-the-entire-body-brain-heart-liver-ovaries-testes.html>

スパイク蛋白質が、人間の細胞に干渉するように仕組まれた、生物兵器であることを考えれば、それらが、妊娠した女性に高率の自動的中絶を起こさせるのは、驚くことではない。

私は最近、ピーター・マッカラウ博士にインタビューした。彼は内科医の権威で、2つの医学ジャーナルを持っている。彼はこれを、人口削減アジェンダとは性格づけなかったものの、これらのワクチンが妊娠した女性を攻撃し、80%以上の生まれなかった赤ん坊が、墮胎させられていることに合意した。彼はこれを「残虐行為」と呼び、こうした妊娠した女性にワクチンを押し付けることは、「恥ずべきこと」だと言った。彼の生の声をこのインタビューで聞くことができる。

（上の埋め込み記事で再生可能）

こういったことが意味するのは、正常に誕生する子供が、来年はアメリカだけでも、320万人減少するかもしれない——もしすべての妊娠した女性が、妊娠の20週間の初期に、ワクチン接種されたなら——ということである。この場合、子宮の中で殺された、生まれなかった赤ん坊の数は、「ホロコースト」レベルに達し、だからこそ、それは医学的「残虐行為」と呼ばれる。

医学と科学の分野は、人類に背を向けてしまった。彼らは今、100万単位で赤ん坊を殺し、スパイク蛋白質生物兵器によって、成人に注射し、人々はそのため、突然の病気や、心臓発作や、死や、一生続く障害を与えられている。

ワクチン産業はいま、人類と戦っている。そして、生きて生まれてきた赤子たちは、彼らの敵である。ジョー・バイデンの土地マネージメント帝王が、かつて、人間の子どもたちを評価して「環境的危険存在」と言った。<https://www.naturalnews.com/2021-06-30-biden-land-management-czar-children-environmental-hazard.html>

これは戦争である。生物兵器攻撃である。そして、それは単なる「人類に対する犯罪」を超えている。それは、科学と医学制度による、人類全体へのスピリチュアルな裏切りである。科学も医学も、長いこと、人類を助ける動機と欲求を持っているかのように、振舞ってきた。しかし今、はっきりと、人類を滅ぼす方向に向かって動いている。

[訳者 Greatchain]

現在、医者の方々に、コロナ・ワクチンを受けるべきかどうか、患者から相談を受けるような立場の人は、この論者のような観点があることを、承知しておいていただきたい。人類を滅ぼすとか、生物兵器とか、そんな馬鹿なことがあるはずがないのだから、そんなことを言う人々おかしいのだと、専門家の権威にかけて断定される医者がおられたら、この論者のように、怪しいと疑ってみるところから出発して、我々患者を指導していただきたい。専門家の権威だけでは、世の中が動かない困ったことになっている。少なくともそれが実情である。